

「一弦琴演奏」と「ことたまライブ」

松本記念
音楽迎賓館

一弦琴奏者

敷島のやまとの国は言霊の

幸はう国ぞまささきくありこそ

(柿本人麻呂)

「楽風」

一弦琴は一本の弦で奏でられる哀愁を帯びながらも、凛とした音色を持つ楽器です。「一つ緒」「須磨琴」「板琴」とも呼ばれています。その歴史は古く、「日本後記」の桓武天皇延暦十八年の条に記載されています。江戸時代に公卿、国学者に持て囃されました。

そこには、和歌に唄われている「やまと心」なるたまごころの言霊の発揚があるからです。現代日本に必要な、失われかけている「やまと心」なる万葉人の歌と言霊の叫びです。

現代の騒がしい生活の中で、自分をゆっくり見つめ直したい時など、哀楚を帯びた一弦の琴の音は自らを浄化し幽玄の世界へ誘ってくれます。

わが国は神代より、

言霊のたすくる国と言い伝えられてきております。

一弦琴の調べはあなたの心を癒し、

言葉の力はあなたの魂を振り起してくれます。

人々の心をも感動せしむる言霊。

何かを語りかけてくれるような・・・あはれを誘う・・・

一弦琴の調べをお聴きください。

一、演奏（弾き語り）

「須磨」「酒ほぎ」「漁火」「土佐の海」「泊仙操」「須賀」

一、言霊ライブ（語り）

万葉人の言霊「言葉は神なり」

一、発声法体感 体に響く発声法（声の振動共鳴）

平成二十四年

三月二十六日（月）午後一時～午後二時三十分

二千円 全席自由

ご予約 03・3709・5951

松本記念音楽迎賓館 横田

お問い合わせ 楽風会 電話 Fax 0594・21・5921番

会場住所 世田谷区岡本二丁目三十二番十五号